

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	コケとーる泡スプレー
供給者の会社名称	レインボー薬品株式会社
住所	東京都台東区上野1-19-10
担当部門	企画開発部
電話番号	03-6740-7777
FAX番号	03-6740-7000
推奨用途及び使用上の制限	雑貨 コケ駆除剤、農耕地での使用は不可

2. 危険有害性の要約

一般消費者の生活の用に供される製品であるため表示・通知義務の対象外であるが、参考として記載する。

GHS分類(分類JIS)		
物理化学的危険性	自己発熱性化学品 金属腐食性物質	分類できない 分類できない
健康有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない 分類できない 区分1 区分1 分類できない 分類できない 分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	区分3 区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	腐食性
注意喚起語	危険
危険有害性情報	(H314) 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 (H318) 重篤な眼の損傷 (H402) 水生生物に有害 (H412) 長期的継続的影響によって水生生物に有害
注意書き	【安全対策】 (P260)ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 (P264)取扱い後は手をよく洗うこと。 (P280)保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 (P273)環境への放出を避けること。
	【応急措置】 (P301＋P330＋P331)飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 (P303＋P361＋P353)皮膚に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。 (P363)汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 (P304＋P340)吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 (P310)直ちに医師に連絡すること。 (P305＋P351＋P338)眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	【保管】 (P405) 施錠して保管すること。

【廃棄】 (P501)内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名又は一般名 ① 塩化ベンザルコニウム
[化学名:塩化アルキル(C₈~C₁₈)ジメチルベンジルアンモニウム]
② 銅化合物(非公開)

成分	含有量(%)	化審法No.	安衛法No.	CAS番号
塩化ベンザルコニウム	非公開	3-2694	4-(2)-9	61789-71-7
銅化合物(非公開)	非公開	—	—	非公開
水	残部	—	—	—

4. 応急措置

眼に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、速やかに眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合 汚染された衣服、靴等を速やかに脱がせ、接触部分を多量の水で十分に洗浄し、速やかに医師の診断を受ける。
吸入した場合 新鮮な空気の風通しの良い場所で身体を楽にして休息させる。
重症の場合は直ちに医師の診断を受け、その指示に従う。
飲み込んだ場合 口の中をすすぎ、コップ1~2杯の水、牛乳を飲ませ、速やかに医師の診断を受ける。無理に吐かせない。応急処置を施した後、速やかに医師の診断を受ける。(腐食性液体のため吐き出させるとかえって危険性が増す)

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水、粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤 情報なし
火災時の特有の危険有害性 消火時には、燃焼又は高温により有毒ガス(一酸化炭素等)が発生することがある。
特定の消火方法 消火活動は、風上より行う。
移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火の為に放水などにより、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切に処理する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火時には、ゴム製防護衣、ゴム製保護手袋、ゴーグル型保護メガネ、ゴム長靴、空気呼吸器など適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。風下の人を避難させ、漏出場所から人を遠ざける。多量の場合は、付近の人を風上に避難させ、周囲にロープを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合は、処理が終わるまで十分に換気を行う。
保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項 漏出物や洗浄水等が河川等に排出され環境に影響を与えないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法 少量の場合は、おが屑、ウエス等に吸収させ回収する。大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
及び機材

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 通常の取り扱いであれば特に問題はない。

接触回避	眼に直接入らないようにする。
保管	金属等に腐食性があるので注意する。
安全な保管条件	直射日光を避け、冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	製品の容器包装材料にて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	局所排気及び全体排気装置を設ける。 安全シャワー、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
管理濃度/許容濃度	設定されていない。
保護具	マスク、ゴム手袋、保護眼鏡 その他必要に応じ防塵マスク又は防毒マスク(有機ガス用)、蒸気濃度が高い場所は送気マスク、空気呼吸器、ゴーグル、長靴、前掛け等の中から適したものを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	液体
	色	薄青色透明
臭い		あり
pH		7.0～9.0
比重		0.99～1.0
溶解性		水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性	常温において安定。
反応性	常温において反応性なし。 強酸化剤とは反応して危険。 強アルカリとは反応して中和熱を発生する。
混触危険物質	鉄、ステンレス鋼
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	製品(ラット♀)LD50: >3,000mg/kg(区分に該当しない)
	経皮	データがなく分類できない。
	吸入	データがなく分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		塩化ベンザルコニウム1%水溶液 皮膚刺激性(モルモット): 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		区分1Aの成分を1%以上含むため、区分1とした。 塩化ベンザルコニウム1%水溶液 眼刺激性(ウサギ): 強度の刺激性 刺激反応は認められないが処置をせず放置すると失明の恐れがある。
呼吸器感作性		区分1の成分を1%以上含むため、区分1とした。 データがなく分類できない。
皮膚感作性		データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性		データがなく分類できない。
発がん性		データがなく分類できない。
生殖毒性		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データがなく分類できない。

吸引性呼吸器有害性

データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

製品 データなし

塩化ベンザルコニウム 51%水溶液：

ヒメダカ LC50 (48h)：9.21mg/L

水生環境有害性(長期間)

急性 GHS 区分3であり、急速分解性および生物蓄積性が不明であるため、区分3とした。

オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託して適切に処理する。

空容器・包装

内容物を使い切った後、適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号

1760

品名(国連輸送名)

その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)
CORROSIVE LIQUID, N.O.S.

国連分類

8

容器等級

III

輸送又は輸送手段に関する
特別の安全対策輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

国内規制がある場合の規制情報

労働安全衛生法、船舶安全法、航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

154

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法(化管法)

該当なし

毒物及び劇物取締法

該当なし

消防法

該当なし

16. SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報

本データシートの情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上、実施願います。

<改訂情報>

2023.11.17 新規作成